

聖書箇所：ルカの福音書23章32-43節
「三本の十字架」

【1】 三本の十字架

- ・「やり直せる」ことに希望を置く私たち
- ・十字架
 - 最も忌まわしいもの
 - 恐怖と屈辱の象徴
 - 神にのろわれた者の末路（申命記 21:23, ガラテヤ 3:13）
- ・十字架につけられるとは
 - 人からやり直しを否定されること
 - 強烈な痛みと見捨てられる苦しみの中で迎える死
- ・三本の十字架：中央にイエス・左右に二人の犯罪人

【2】 イエスを罵った人々

- ・自分ではなく他者のために祈るイエス
 - 他者のことではなくまず自分を救え
- ・議員/ローマの兵士/一人の犯罪人の共通の主張
 - キリストなら自分を救え

【3】 十字架上で救われた犯罪人の一人

- ・イエスの隣の犯罪人の一人に起こった変化
 - 気付き：「…この方は、悪いことを何もしていない。」(ルカ 23:41)
 - 受容：自分は「自分のしたことの報い」を受けている
- ・ののしる者にとっての「救い」
 - 十字架から降り命が長らえること
- ・一人の犯罪人にとっての「救い」（願い）
 - 「あなたが御国に入られるときには、私を思い出してください」(23:42)

▷十字架につけられた犯罪人の一人は、誰からも見放された絶望の中でイエスと出会い、イエスを心に迎えました。彼が十字架刑を免れ命が長らえることはありませんでしたが、死にゆく時も、そして死後も「あなたは今日、わたしとともに」いますと約束してくださるインマヌエルのキリストと共にいる者とされました。

